

寺報

No.701

令和8年1月

蓮華寺
發行

御聖訓

吹^ふく風^{かぜ}もゆるぐ木^き草^{くさ}も流^{なが}るる水^{みづ}
 の音^{おと}までも、この山^{やま}には妙^{みょう}法^{ぼう}の五^ご
 字^じを唱^{とな}えずと云^いうことなし。

『波^は木^ぎ井^い殿^{どの}御^ご書^{しよ}』



(解説)

日蓮大聖人は当時の鎌倉幕府に対して、国を思い法華經に改宗する事を三度進言されましたが、受けられず、後に信徒である「波木井(南部)実長」公のお招きにより身延山へ入山されました。

そして、昼夜に渡り法華經・お題目の誦誦と弟子・信徒の信仰指導に当り、ついには九ヶ年の間をこの山で過ごされたのです。

様々なご法難に遭われてきた大聖人のご生涯の中でこの時期は一番心も身体も安らいだと思われます。そしてこの身延山こそが、お釈迦様が八年間法華經をお説きになられた、インドの靈鷲山というお山と同じであると確信されたのです。

更にこのお言葉のように、身延山の大自然そのものが法華經の世界であるともいわれたのです。

どうか、皆様も新しい年を迎えまして、大聖人の教えを受け継ぎ、法華經・お題目を出来るだけ唱えて無事一年を過ごしていきましよう。

まず実行あるのみです。

新年のご挨拶

廣布山 蓮華寺

新年明けましておめでとうございます。

今年も『廣布山蓮華寺』をよろしくお願い致します。また皆様の無事平穩も、心よりお祈りしたいと思ひます。

しかし、實際世の中は連日のように、凶悪な出来事が多発し、我々が一年間無事に過ごす事が大変厳しくなっている状態です。

特に親が子を、子が親を殺傷する事件、また兄弟姉妹での争い、更に学校や職場での「いじめ」が頻繁に起り、自殺までする人々がいるという最悪な事態が全国に蔓延しています。

いかに【いのち】を粗末にし、またされているかがお分かりになると思います。

【いのち】の大切さが分っているのなら、親子・兄弟が殺し合ったり、相手が自殺するまで追い込むような「いじめ」などは出来ないはずです。

『命が大切なのは当たり前じゃないか』という人がいますが、ここでいう【いのち】は自分の【いのち】の

事をいつているのではないのです。

お釈迦様や日蓮大聖人も、自分の【いのち】だけが大切なのではなく、他人の【いのち】やこの世に生きるあらゆる物の【いのち】が大切なのであり、これ等が全て「仏様のいのち」に繋がるものであると教えているのです。

つまり、皆同じ「仏様のいのち」の元に生かされていますという事です。

どうか、皆様もお釈迦様・日蓮大聖人のみ弟子の一人であるという事を自覚し、法華経・お題目のお力でこの【いのち】を無駄にせず、しっかりと生き抜いていって下さい。

最近では、亡くなられた方を唯お墓に埋めてきたり、先祖へのご報恩に当る法事などをせず、その【いのち】の元である、先祖や仏様を粗末に扱う方達がふえてきました。

今後の動向が大変心配です。

どうか、法華経を信じお題目を唱える皆様は、自分だけの幸せを求める事だけに止どまらず、他の方々も幸せになるように願って戴きたいと思ひます。

唱題行（寒修行）に

参加しましょう！

日蓮大聖人は伊豆流罪の時「法華経の明鏡に照らして、今の自分の身の上を考えると、過去に謗法（法華経を非難する）の罪を犯した事は明らかである。

その重罪を今生に償わなければ、未来に地獄の苦を免れる事は出来ない。

しかし償う事によって未来に仏になる事は大変喜ばしい。」と申されました。

仏教では、今の自分の置かれている状態は、過去世の因縁から来るものであると説いています。

ですからこれが悪因縁ならば、自らが立ち切り、懺悔（反省）し、次世代まで絶対持ち越さないようにしていかなければなりません。

日蓮大聖人は、それには『南無妙法蓮華経』のお題目を唱えるしか解決方法はないといひます。

どうか皆様も、是非この教えを元に、お寺で一心に唱題行をしましょう。

また、仏様や先祖の供養の為、そして各家の家内安全や家族の身体健全を祈る事も大事でしょう。
②今年の大寒は二十日（火）になります。

一月十七日（土）～二十三日（金）迄【七日間】

午後七時より一時間（小本堂）

次第

- 礼拝文「謹みて礼拝し奉る」【4ページ】
- 開経偈「無上甚深微妙の」【6ページ】
- 読経「如来寿量品第十六」【13ページ】
- 懺悔文「夫れ懺悔は治病の」【47ページ】
- 御妙判「祈禱」【67ページ】
- 御題目「南無妙法蓮華経」【72ページ】
- 宝塔偈「此経難持の」【72ページ】
- 回向文「導師が唱えます」【76ページ】
- 四誓願「誓って南無妙法」【77ページ】
- 三整唱「なむめう」【77ページ】
- 彈指合掌（祈りを込めます）

③全員イス席での修行となります。

持参品：聖典・数珠・団扇太鼓（所有の者）

日程

住職	十七日・二十日・二十三日
加藤上人	十八日
對馬上人	十九日
塙上人	二十一日・二十二日

節分会のお知らせ

二月三日（火）

午後六時開始

男性大厄	数え二十五歳	平成十四年生れ
	数え四十二歳	昭和六十年生れ
女性大厄	数え十 九歳	平成二十年生れ
	数え三十三歳	平成六年生れ
男女共通	前厄・後厄（厄年の前後）	
	昭和五年・十七年・二十九年 四十一年・五十三年生れ	
年男・年女 （午年）	平成二年・十四年・二十六年生れ	
その他	令和八年生れ	

- ・還暦（六十一歳）・古稀（七十歳）
 - ・喜寿（七十七歳）・傘寿（八十歳）
 - ・米寿（八十八歳）・卒寿（九十歳）
 - ・白寿（九十九歳）
- ①いずれも数え年です。

・今年ご祈祷希望者はどなたでも受けられます。

★厄払い・三千五百円

- ◎豆まき◎祈願読上げ
- ◎お加持◎厄札◎絵馬
- ◎福豆のお土産等

②本人が来られない場合は、代理の方か、または帯・ベルト・肌着等、身に着ける物をご持参下さい。

★一般祈願・千円（◎節分札◎祈願読上げ）

追膳は元旦より八日まで

お休みです

お正月は位牌堂・永代供養堂に上げます『追膳』がお休みとなりますので、各自『お供え餅』を上げるか、またお寺に注文し上げてもらって下さい。

『提灯』の募集

「お正月」などで下げます『提灯』を募集します。
作成価格は八千円、年間の管理費が二千円です。

『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職が各会員の『家内安全』をご祈願致します。
会費・・・年額二、四〇〇円（月二百円）

★八方塞がり

困った状態を表す時に使う『八方塞がり』という言葉があります。

この年に当る人は何をやってもし上手くいかず、どうしようもない状態におちいつたり、またどの方面に行っても差し障りが出てくる事があります。

八方とは「東・西・南・北・南東・南西・北東・北西」をいいますが、この方角よりも、皆様一人一人が持っている年令ごとの星回りに現れる厄を、この年にお祓いしなくてはなりません。

これを『八方塞がり』の厄除け祈祷といます。

*令和八年度の八方塞がり

男女共通（数え年）

昭和二年（百歳）・十一年（九十一歳）・二十年（八十二歳）・二十九年（七十三歳）・三十八年（六十四歳）・四十七年（五十五歳）・五十六年（四十六歳）
平成二年（三十七歳）・十一年（二十八歳）・二十年（十九歳）・二十九年（十歳）
令和八年（二歳）

角田堯現上人の近況報告

今般、東京「池上本門寺」そして「堀の内妙法寺」の【御会式】・更に伊豆の伊東の行脚に於て、先頭に立ちお題目の旗手を勤めました。



四月に蓮華寺に帰る予定です。

教宣部からの御礼とお願い

部長 杉淵 昌三

現在、教宣部が主体となり、以前活動していましたが【伝道部】【奉仕部】の仕事も行っています。

皆様もご存知のように、お寺の行事は様々のお手伝いの必要があり、沢山の方々のご奉仕を戴きまして継続出来ていきます。

昨年度も「年中行事」の他に、春と秋のお彼岸また夏のお盆の「追膳」のお手伝い、更に「御会式の花作り」等の奉仕活動がありました。教宣部員と一般檀信徒の皆様のご協力により、無事終了する事が出来ました。

また伝道活動におきましても、檀信徒の皆様のための修行として行われています。一月十七日～二十三日までの『寒修行』、更に四月～十一月までの月一回の『檀信徒研修会（お経と唱題行）』も無事成功の内に終える事が出来ました。

その他「図書・カセットテープ・CD・DVD」等の貸し出しもしていますので、どうぞご利用下さい。更に、昨年は部員の『喜寿を祝う会』も和気あいあい

のもと楽しく行う事が出来ました。どうか檀信徒の皆様の中で、菩提寺の為・先祖の為・自分自身のご信仰の為に活動したい方は、迷わず『教宣部』に入部して下さい。また、部員でなくとも【蓮華寺】の為に協力戴ける方は、まずご遠慮なさらずにお手伝いをよろしくお願い致します。

どうか今年も頑張つて奉仕活動をしていきましょう。

教宣部員募集中！

*詳細は事務所まで

『靈断』のおすすめ！

檀信徒の皆様で、日頃から何かお困り事や悩み事がありましたら、迷わず蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて、当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお秘密厳守にて、宗旨宗派は問いませんので、お気軽にご相談下さい。

【ご相談料は、原則として一件につき三千元です】



一 日(木) 元旦祝祷会 午前0時より

・年の始め、自ら進んでお勤めに参加しましょう。

・お経は、聖典(お経本)を最初から順にゆつくり

読みますので、皆様も一緒に唱えましょう。

・お正月の法要はこの時間のみですので、ご注意の上、お参り下さい。

②一月分の『盛運祈願会』は元旦には行いません。

☆この日は、当山開基「日持上人」のご命日ですので法要の中でご回向させて戴きます。

十三日(火) 日蓮大聖人のご命日 午後一時より

・お経 如来神力品第二十一(日本語読み)

如来寿量品第十六 (漢字読み)

・皆様も、大聖人様への御報恩を忘れずに参拝し、お経とお題目を一緒に唱えましょう。

③『十三日のお勤め』のお経練習用の(CD・お経本)は事務所にてお求め下さい。

寒修行(唱題行)

一月十七日(土)～一月二十三日(金) 【七日間】

午後七時～午後八時迄 於：小本堂

☆奉仕のお知らせ

令和七年十二月三十一日(水) 元旦祝祷会のお手伝い 午後十時より

【教宣部・男女共沢山】

*新しい年に向けての奉仕活動、ご参拝を兼ねながらよろしくお願い致します。

令和八年一月

三日(土) 元旦祝祷会の後片付け 午前十時より

【教宣部・男女共沢山】

*ちようちゃんや幕・幟などの後片付けです。

(注)部員以外でお手伝いの出来る方も、ぜひ当日時間までお集まり下さい。

◎教宣部長・杉淵 昌三

せつ ぶん え 節 分 会

二月三日(火)

午後六時より



(厄払い・豆まき・法楽加持・祈願あり)

* 厄払いと一般の祈願は一月十日より受付ています。

④豆まきを行いますのは、としおとこ年男・としおんな年女 (うまどし午年)

やくどし厄年・その他本年度ご祈祷希望者の方となります。